

学校教育目標や、本校の目指す生徒像につながる質問項目に着目して、本校の強みや課題を見つけ出し、改善の取り組みを考えてみます。



この見開きのページの中心部分には、**国語・数学・英語**の調査結果に見える本校の強みと課題をまとめました。外側を囲む枠の部分には「生徒質問紙」から見えてきた本校生徒の強みや課題点についてまとめました。

本校生徒の強み①

○将来の夢・目標を持つようとしている南中生 (7) 将来の夢や目標を持っています。
1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる

本校		県		全国	
----	--	---	--	----	--

もちろん、1・2 以外を選択して回答した生徒の思いも共に大切にしながら、キャリア教育等を通して、将来を思い描く価値について考えていきます。

本校生徒の強み②

○国際理解教育への高い関心 (31) 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思っています。
1 当てはまる

本校		県		全国	
----	--	---	--	----	--

授業改善の成果と共に、本村での英語研修旅行の蓄積も子どもたちの成長の糧となっていると思われます。

本校生徒の強み③

○ICT 機器の日常活用 (33) 二年生のときに受けた授業で、PC、タブレットなどの ICT 機器をどの程度活用したか。 1 ほぼ毎日

本校		県		全国	
----	--	---	--	----	--

ハード/ソフト面の両面を充実により、ICT 機器が子どもたちにとって文房具となりつつあることが伺えます。

本校生徒の強み④

○話し合い活動を通しての、考えの深まりや広がりの実感 (13) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか。

1 当てはまる

本校	
県	
全国	

(40) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。

1 当てはまる

本校	
県	
全国	

教科の授業のみならず、生徒会の時間や全校の集会等でも。車座になって自分の考えを語り合い、他者の考えを取り入れ、見方・考え方を働かせることができるのは南中生の強みです。こうした強みを自覚し、自分たちの活動にも積極的に取り入れていこうとしている子たちの姿をさらに支援していきます。

R5 全国学力・学習状況調査に見る南牧中学校の学びの今

国語

◎力がついている

- ・聞き取ったことをもとに、目的に沿って自分の考えをまとめることができる。(1(四))
- ・文章の中心的な部分と付加的な部分について、叙述をもとに捉え、要旨を把握することができる。(2(三))
- ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(4(三))

△伸ばしていこう

- ・文脈に即して漢字を正しく書くことができる。(3(二))
- ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができる。(4(一))

数学

◎力がついている

- ・累積度数の意味を理解している。(5)
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。(6(1))
- ・与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読み取ることができる。(8(1))

△伸ばしていこう

- ・自然数の意味を理解している。(1)
- ・四分位範囲の意味を理解している。(7(1))
- ・複数の集団データの、分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的表現を用いて説明することができる。(7(2))

国立教育政策研究所のホームページ▶



英語

◎力がついている

- ・文と文のつながりを考え、正確に読み取ることができる。(7(1))
- ・社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができる。(8(1))
- ・日常的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を英語で隠せず述べるができる。(話すこと)

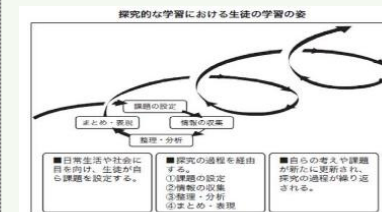
△伸ばしていこう

- ・「事実、情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができる。(5(2))
- ・疑問詞を用いた過去の疑問文 (Where did you buy it?) を正確に書くことができる。(9(1)(2))

全国学力・学習状況調査は、今年の4月18日(火)(英語「話すこと」調査は20日(木))に行われました。これは、2021年度全面実施された学習指導要領の定着の度合いを測り、教科学習の授業改善に生かしていくためのものです。本年度の問題や調査結果の資料などは、国立教育政策研究所のホームページ(左上二次元コード)で見ることができます。

本校生徒の強み⑤ 他にも…

- 地域や社会をよくするために何かしてみたい。
- 課題解決的な学習の定着
- 探究のサイクルの自覚
- 教科横断的な学びへの関心



特定の教科によらず、教科を横断的に捉えた資質・能力(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等)を育てていく学習活動に、本校生徒は大きな関心を寄せていることがわかります。こうした力をさらに伸ばしていくための南牧中学校の学校づくりはどうあったらよいか、授業改善をはじめとし、学校行事の再構築を含めて、令和6年度の教育課程を編成していきたいと考えます。



【調査結果をもとに南牧中で取り組んでいきたいと考えていること】①自分の意見をもって友と交流したり、複数の資料から必要な情報を取り入れたりして意見を再構築する言語活動を充実させる。②互いの良さを認め合い安心して過ごせる集団作りを目指す。③自らの課題解決に向けた追究を通して「できた」という達成感を積み重ね、学習することの喜びとともに「学校が楽しい」と感じられる授業改善を教師全員で図っていく。

校内職員研修で意見交換しました。

《本校生徒の課題と思われる点》

- ・(16) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)。
 - ・(18) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。
 - ・(20) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。
 - ・(23) 新聞を読んでいますか？
 - ・(35) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、ICT機器を勉強のために使っていますか。
- これらの項目については、(1、当てはまる・1、よくしている)と答えた生徒の割合が全国比で低い結果となりました。